

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	社会科学概論 social science		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般 人文・社会	授業形態・学期	講義・後期
	対象学生	MS-2, EC-2	必修・選択の別	選択
教員に かかわ る情報	担当教員・所属	角谷 英則・一般科目（文）		
	研究室等の連絡先	研究室：管理・一般科目棟 2 階（内線：8 1 8 5） E-mail：kadoya@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	史学・ジェンダー学・社会学・言語学・障害学		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(4)特別研究を自主的、積極的に推進することにより、技術者として必須の問題発見能力と課題解決能力、すなわち創造的な成果を生み出すデザイン能力、研究能力を身につけるとともに、研究結果を学会などで発表し、他の研究者や技術者との交流を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身につける。」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(B)地球的視野に立った人間性の育成 B-2：地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し、説明できること」である。		
	授業の概要	この科目は、近代以降に生み出された社会科学の古典やよく知られた諸学説に関する基本的な知識を参照・学習しながら、現代社会の具体的な諸問題について考えることによって、社会科学的なものの見方、思考方法を身につけることを目的とする。		
	学習目的	専門とは異なる分野における思考方法をまなぶことによって、人間性涵養の背景となるような教養を身につけることを学習目的とする。		
	到達目標	社会科学的な視点から人間、社会、文化について多面的に理解し、国際社会の一員として社会的諸問題の解決に向けて主体的に貢献する自覚と素養を培う。人間活動や科学技術の役割と影響に関心を持ち、幸福とは何かを追究しながら技術者として社会に貢献する自覚と素養を培う。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1 単位あたり授業時間として 1 5 単位時間開講するが、これ以外に 3 0 単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。		
履修のアドバイス		とくになし		
基礎科目		世界史（1 年）、政治経済（2）、日本史（3）、「人間と文化」（4）、「人間と社会」（5）		
関連科目		なし		

授業にかかわる情報				
授業の方法			毎週の当番報告者を中心として講義をおこないながら，受講者の意見を求め，そこからさらに議論を発展させていく方法で進める	
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	後 期	1 週	● 導入 「社会科学」とはなにか。	基本的に講義内容の復習をおこなう。 レポート／プレゼンテーション準備 レポート／プレゼンテーション準備 レポート／プレゼンテーション準備 レポート／プレゼンテーション準備 レポート／プレゼンテーション準備 レポート／プレゼンテーション準備 レポート／プレゼンテーション準備 レポート／プレゼンテーション準備
		2 週	● 社会科学的な思考について	
		3・4 週	● 演習	
		5・6 週	● 演習	
		7・8 週	● 演習	
		9・10 週	● 演習	
		11・12 週	● 演習	
		13・14 週	● 演習	
		15 週	● 演習	
教科書，教材等			必要な資料は随時印刷・配布する。各自の選択テーマによって，購入すべき文献を指示することがある。	
成績評価方法			提出課題（100%）もしくは口頭報告（100%）。十分な参加が評価対象となる必要条件である。課題は課題提示の翌週の提出することとし，授業時間外の学習評価はその内容によってなされる。	
受講上のアドバイス			この科目の受講者には，履修のために相当の学習意欲・知的好奇心・積極性が要求される。また，講義中の積極的な発言が歓迎される。遅刻に対するペナルティはもうけないが，受講者の自律性につよく期待する。	